

森づくり通信

No.49

2018年 9月12日(水)発行 発行/金沢森づくりサポートバンク事務局

〒920-1301 金沢市永安町77番地 (金沢市林業振興協議会内)

TEL:076-229-1699 FAX:076-229-1172



今年の夏は異常だと毎年言っていますが、今年は超異常だと思います。1か月以上も雨が降らないかと思えば、8/16にはかほく市に記録的短時間大雨情報が出るくらい大雨になり、金沢でも斜面が崩壊したり道路が冠水したりして被害が出ました。

9月に入り巨大台風21号の災害や北海道の地震を目の当たりにすると自然の力には抗せないと感じますが、都市部はなおさら被害が拡大するように思います。

平成30年度 金沢森づくりイベント情報(一般参加可能分)

日程	イベント内容(予定)	場所	問合せ先
10月7日(日)	木と火とヒト 木質バイオマス利用促進イベント	金沢市宮野町	角間里山みらい 076-256-5338
10月13日(土)	きんしん東原の森づくり 森林整備活動	金沢市東原町	きんしん環境財団 076-231-7990
11月3日(土) 4日(日)	角間里山まつり 里山イベント	金沢大学 角間の里	角間里山みらい 076-256-5338
11月10日(土)	金沢北の森イベント 秋の森づくりと自然素材の工作を楽しもう♪	金沢市堅田町	金沢市森林再生課 076-220-2217
11月18日(日)	熊走町山の灯り「里」交流まつり 里山交流まつり	金沢市熊走町	金沢市森林再生課 076-220-2217



森づくり関連実施報告



森づくり専門員が森づくり活動や出前講座を行います。

金沢市森づくり専門員が子ども達や一般市民、企業等を対象に森林の役割や森づくりの進め方などについて助言し、森の中での間伐体験学習や植栽森づくり体験、学校では金沢の森を整備した際の木を利用し様々な木製品の工作指導など、森林環境教育を実施しています。

また、NPOなどの森づくりの際には森づくり専門員も可能な限り活動に参加し、道具の貸し出しも行っていきます。

<問い合わせ先> 金沢森づくりサポートバンク事務局 または 金沢市森林再生課 TEL:076-220-2217

8月2・3日（木・金） **こどもあおぞらウッティアート**

金沢市市民芸術村において、金沢の森を整備する中で出た木を使いオリジナルシェルフを作りました。昨年までは1日午前午後2回の開催でしたが、毎年あまりにも応募者が多く昨年は抽選倍率が3倍近くになり、今年は2日間計4回行う事にしました。それでも1.33倍になりましたが2日間で親子180名が協力して素敵なオリジナルシェルフを作りました。

例年は天気が良ければ木陰を利用しテントを建てて屋外で工作をしていましたが、今年はあまりの酷暑でエアコンが利く屋内で行いました。



主催者の金沢市森林再生課課長に開会の挨拶をして頂きました。2日間計4回の挨拶なので、課長補佐と交代で行って頂きました。



森づくり専門員は地球温暖化の影響で熱中症や巨大な台風、集中豪雨などの災害が頻繁に起こるようになり、これを食い止めるには健全な森を作り、Co2を吸収した木を使う事が大切だと説明しました



一番大事な墨だしを慎重に行い、板の組み合わせやクギの位置を確定させています。両日とも北陸学院大学の学生がボランティアとしてサポートに来てくれました。



今回はノコギリを使わず金づちでクギを打ち組み立てる作品ですが、材料がずれないように親子で協力して、オリジナルシェルフを作っています。



組み立て完成後はハンドサンダーで面取りやサンドペーパーで磨き、イラストを描いたりシールを貼ったりしてデコレーションして完成させています。



完成！完成集合写真を撮りたかったのですが、作業の歩調が合わず一組一組の完成写真となりました。実用性があるのでみんな喜んで持ち帰りました。

6月14日（木）不動寺小学校出前講座



不動寺小学校3年生18名を対象に、最初の1時限はマルテで森林の働きと自分たちの生活との関わりを実験も交え行い、後半は春に植菌したナメコとシイタケの本伏を行いました。NHKをはじめ報道各社が取材に来て放映してくれました。



6/15・7/6（金）コマツの森づくり活動



小松製作所の新人研修の一環として、6/15の大卒12名は金沢工場近くのクロマツ植栽地の草刈活動を行いました。7/6の高卒12名は雨の為森づくり活動は中止し、研修室で生態系での要となる森林についての講義を行いました。



6月16日(土) 国際交流SATOYAMA体験



留学生と地元学生65名が里山の現状を学び、森づくり活動を行う事や笹ずし、草笛などの日本の伝統文化を体験してもらう事で国際交流を進め、異文化の理解を深める活動を金沢大学キャンパスで行いました。ホオノキやヤマザクラの苗も植栽しました。



6月19日(火) 三谷小学校出前講座



三谷小学校5年生11名を対象に教室出前講座を行いました。パワーポイントで森の働きと私たちとの関わりを学んでもらい、実験で森の土の水源涵養の力を確かめてもらいました。最後に森に関するクイズを解いてもらい賞品を出しました。



6/21・8/10(木・金) 内川小学校出前講座



6/21は3年生6名を対象に春に植菌したナメコとシイタケの本伏を行いました。竹細工も行い、楽しかったようです。



8/10は緑の少年団活動で高学年28名が丸太ベンチやテーブル、わくわくの森の看板、円柱材での花壇を作りました。

6月25日(月) 三谷・中村町小交流学習活動



三谷・中村町小学校3年生は交流学習会を例年続けており、今年も中村町小59名三谷小4名が参加し市瀬町のシイタケ工場を見学し、お土産に3個ずつシイタケを頂きました。次の東原町では地元の人に里山の生活や炭焼きの話聞いて理解を深めました。



7月4日(水) 犀川小学校現地出前講座



6年生38名は先輩たちが植えた山桜やハナミズキなどの植栽地であるいたやの森に行き、草刈りの必要性などの説明を受けカマの使い方も教えてもらい草刈りを行いました。



初期に植えたコナラの木は2.5メートルほどになりました。

7月21日(土) 泉野町3丁目町会出前講座



町会でも木を使った木工が出来たら子ども達も喜ぶし、親子でも楽しめるので出来ないかと相談を受け行う事にしました。



親子30名が参加し木を使う事の良さを知ってもらい、低学年はミニプランター、高学年は写真立を作り大喜びでした。

7月22日(日) 玉家の森づくり



玉家建設の社員と玉家会のメンバー及びその家族140名が、湯涌田子島の玉家の森において森づくり活動を行いました。



今年の雪で枝折れなども目立ち、枝払いと下草刈り中心の作業になりました。終了後の軽食は冷やしそうめん。美味しかった！

8月8日(水) 富樫小学校出前講座



富樫小学校サマースクールでは木工のメニューを今年から始め、児童23名が学校工作室に集まりミニプランターを作りました。



いつものように木を使う事の良さを聞いてもらい、二人一組になってもらい作りました。簡単なように見えても手こずりました。

森づくりの話 ⑳

昔は貴重な資源だった竹は、近年タケノコも掘らず利用もせず放置され、大きな問題になってきています。行政側でも問題だと認識し、荒廃竹林整備事業として補助金を出して整備を進めています。

竹は成長が早く根っこを1年で7メートル程伸ばし、タケノコからわずか2か月で20メートル程で成長を終え、既存の森の樹木に光が当たらず枯らしてしまいます。さらに密集して地面には草も生えず昆虫も寄り付かず生物の住みかにもなりません。また、竹の根っこはせいぜい50センチぐらいまでしか根を張らず、土地も硬くなり保水力が低下し雨が降った斜面では地すべりの危険が大きくなります。

荒廃竹林の整備としては毎年出てきた竹を伐り続ける事で5年ぐらいで駆逐できる様ですが、気を緩めると直ぐ元に戻ります。

私どもの竹林整備活動で以前行った薬剤注入駆除は、80センチぐらいの高さにインパクトドリルで穴を空け、そこに除草剤のラウンドアップ・マックスロードを10cc注入し、雨水の侵入と薬剤の乾燥を防ぐ為布ガムテープを貼っておきます。

6か月程で葉っぱが落ち張り巡らされた根っこも枯れ、そのあとタイミングを見計らって伐倒するだけとなります。伐倒した竹は葉っぱも落ち稈(カン)も軽くなって処理しやすく、その後5年ぐらいは竹の侵入もなく他の樹木が枯れるなどの影響もなく、何年も伐採を続ける整備よりはコスト(労力)が少なくて良いように思います。

刈払機 講習会のお知らせ

「刈払機取扱作業者の安全衛生教育」 【日時】平成30年11月7日(水)

刈払機を安全に正しく使うための講習会が実施されています。

登録会員の方には受講費に対しての支援を行っており、希望される方はお知らせください。

申込書をお送りいたします。

会場は石川森林文化ホール(金沢市東蚊爪)で行います。

※お申込みは、10月25日(木)までに金沢森づくりサポートバンク事務局までお申込み下さい。

※直接申し込みは補助の対象になりません

編集後記

「これから」

爆弾低気圧、線状降雨帯、竜巻情報、皆さんはこれらの言葉を最近よく聞くようになったと思いますが、ほんの数十年前までは気象用語として無かったように思います。

真夏日という用語はあったと思いますが、猛暑日という言葉も無かったと思います。また、やたらと数十年に一度の～などと言う言葉も聞くようになりました。

先の集中豪雨や台風21号の被害を受けられた方々には心よりお見舞い申し上げます。

このような災害は自然災害なのではないかという意見もありますが、私には今まで人類が行ってきた活動に対しての警告のように思える時があります。

もはや地球規模で影響が出ている地球温暖化は、どこかの国の大統領がフェイクだと言っても地球が熱くなっているのは事実です。

利便性を追い求め、確かに私たちの生活は便利になりましたが、結局地球環境に負荷を与え続けているのでしょ。プラスチックストローの件もプラスチック全体から見れば微々たるものだと思いますが、少しの不便も善しとする生活も大切だと思います。

金沢市森づくり専門員 加藤 八郎

